

## ワークショップ開催

誰

このワークショップの目的は、スカウト運動の本質そのものを課題とし、指導者たちの意見交換、討議をとおして、使命を達成するために何に着手し、そして誰を対象に行うかを考える徹底的な思考プロセスの構築にあります。

何

## スカウティングの使命達成



**SCOUTING FOR WHAT?  
SCOUTING FOR WHOM?  
ACHIEVING THE MISSION OF SCOUTING**

**2001.10.6~10.8 東京・ボーイスカウト会館**

のためのスカウティングか？

のためのスカウティングか？

去る一〇月六日から三泊三日の日程で、東京・ボーイスカウト会館においてワークショップが開催されました。

「何のためのスカウティングか？」  
「誰のためのスカウティングか？」および「スカウティングの使命の達成」というタイトルのもとに、運動の本質にもかかわる重要な課題についての討議が行われました。左頁の日程表を見てもわかるように豊富な内容となり、参加者の皆さんにとっては、意義ある充実した体験となったのではないのでしょうか。

このワークショップは、県連盟の正副コミッシヨナー、中央審議会議員、日本連盟の委員会委員を対象に開催され、全国から二四人が参加しました。これまでに、このようなワークショップ形式で、全国から指導者が集まって課題研究に取り組むといった例は、ほとんどありませんでした。二二世紀の幕開けにあたり、運動の改革の方向性を探る意味でも、今回の試みは注目されていました。

「何のため——誰のため——」は、元々第三四回世界スカウト会議（一九

# ワークショップ日程表

	10月6日(土)	10月7日(日)	10月8日(月)
8:00		朝食	朝食
9:00		セッションⅣ グループ発表 「何のためのスカウティングか」 < 休憩 >	セッションⅢ-2 全体討議 「スカウティングの使命の達成A~C」
10:00		導入Ⅲ 「誰のためのスカウティングか」	セッションⅣ グループ討議・全体討議 「スカウティングの使命の達成・行動計画」
11:00		セッションⅤ グループ討議 「青少年の世界」	ワークショップまとめ 質疑応答 閉会式
12:00		昼食	解散
13:00	参加者集合 開会式 グループ編成 他	セッションⅥ グループ討議 「運動の影響を及ぼす」	
14:00	導入Ⅰ 「第34回世界スカウト会議について」(VTR) < 休憩 >	セッションⅦ グループ討議 「全ての青少年の運動」 < 休憩 >	
15:00	導入Ⅱ 「何のためのスカウティングか」	セッションⅧ グループ討議の発表と全体討議 「青少年の運動」	
16:00	セッションⅠ グループ討議 「個人的側面」	夕食	
17:00		導入Ⅳ 「スカウティングの使命声明を達成するために」	
18:00	夕食	セッションⅠ グループ討議 「目的・目標について」	
19:00	セッションⅡ グループ討議 「社会的側面」	セッションⅡ グループ討議 「使命声明の理解」	
20:00	セッションⅢ グループ討議 「個人としての関わりと責任」	セッションⅢ-1 グループ討議 「スカウティングの使命の達成A~C」	
21:00			
22:00	消灯	消灯	

九六年ノルウェー・オスロにおいて取り上げられた課題研究で、一定の成果が認められたものです。その手法を各国でも利用し、多くのスカウト関係者がこの議論と思考プロセスの構築に参画することを目的として、進められたものです。

「—使命の達成—」については、第三五回世界スカウト会議（一九九九年南アフリカ・ダーバン）において採択された『スカウティングの使命声明』を受けてのものです。今回のワークショップでは、日本の指導者がこの使命声明を深く理解し、問題点を検討し、達成のための第一歩を踏み出すことを目指しました。

過去二回の世界スカウト会議によって提示された大きなテーマを、凝縮してコンパクトにまとめた形となった今回のワークショップでは、活発な意見交換が行われ、多くの情報やアイデアがもたらされました。しかし二泊三日の日程では最終結論のような答えが求められるものではありません。スカウティングの原点ともいえる本質的な課題へのアプローチは、始まったばかりです。